



# 京都府立宮津天橋高等学校フィールド探究部 さんしょうもっちーず

京都府宮津市滝馬23

## サンショウモはイネの敵か味方か? —保全に向けた影響評価—



計測の様子

サンショウモは、京都府では宮津市下世屋にのみ自生する絶滅寸前種の浮き草だ。しかし水田雑草として除去されてきたうえ、農法の現代化によって生息環境は大きく減少している。下世屋で農業を続けてきた梅本潔氏の棚田も維持が難しくなり、現地だけの保護には限界があった。自生地を広げようと他の地域のため池や湿地への移植を考えたが、サンショウモの胞子が水田に流れで私たちは、バケツでイネを育て、サンショウモの有無による水温・地温の差や生育への影響を調べる実験を行った。この研究を通して「農業×希少種」込む可能性があるため、イネの生育への影響を評価することが必要になった。そこという新たな農業のかたちを探っていきたい。